

よりよい教育環境をめざして

現在進めている一貫教育施設整備の基本理念に「0歳から15歳までの子どもたちが共に生活することによる育ち合い・学び合い」を掲げています。この理念を実現させるために、エンゼル・小学校・中学校を一体化して整備することについて、検討を進めてきました。検討において、学識経験者や保護者・地域代表等による一貫教育審議会に「一体化することの是非」を諮問し、この度答申をいただきましたので、報告させていただきます。今後、教育委員会で検討を進めていきます。

一貫教育審議会による答申書（一部抜粋）



答申事項

エンゼル、小学校、中学校を一体的に整備することについては「是」とする。

答申理由

① 学校園教育・保育の充実

校種を超え教職員が連携・協力しやすく、相互理解も促進されることから、教職員の資質能力（指導力等）の向上が期待できる。また、義務教育を根幹にしながら就学前保育・教育との接続が強化されることになり、0歳から15歳までの一貫したカリキュラムも実施しやすくなる。

② 豊かな社会性等の向上

幅広い年齢層の人と関わるのが容易になり、多様な人間関係に基づいた社会性の育成が期待できる。自然発生的な異年齢交流により、成長へのあこがれや、自信や責任感をもつことができるなど、非認知能力の向上、心の成長が期待できる。また、校種に関わらず多くの先生たちから見守られることは子どもたちの心の安定にもつながる。

③ 地域の活性化

学校と保護者・地域との関わりや連携が深まることで、地域全体で子どもたちを支える風土が生まれやすくなり、子どもたちだけでなく、大人の学びも活性化され、人づくりと地域づくりの好循環が期待でき、まち全体の発展や魅力の向上に大きく寄与することとなる。



↑第4回一貫教育審議会の様子



↑会長から教育長へ答申書手交の様子

この度、答申書をいただきましたが、上記以外に一貫教育施設整備を進める上での留意点も示されました。今後、その留意点についても丁寧に検討を進めていきます。

こども園・小学校・中学校のホームページがリニューアルされました！



こちらのQRコードからご覧ください。

NEW ホームページ➡

